

04-05AWマテリアル・トレンド

引き続き豊富な複合加工レザー 流れはクラシックな方向へ



今回は茶系の
レザーが中心



会場内では中国
企業とのミーテ
ィング光景も

今回のリネアペッレは、通常の日程より1週間ほど早い10月末に行われた。日本では春夏商品の展示会時期で展示会行きを中止したところもあったようだが、日本人の来場者はいつもながら多く、さらに今回は中国人の姿を多く見かけた。逆にドイツ人の来場者が少なかったという出展者の声があり、業界の状況を象徴しているようだった。

イタリア・タンナーの産地であるサンタクローチエの状況は相変わらず良くないが、今回も複合加工レザーが豊富に提案されており、質で勝負できないような原皮にどう付加価値をつけるかという試行錯誤の後がうかがえた。

Leather Trend

主力は茶、ダークトーンでクラシックな雰囲気

前回の秋冬展も茶系のバリエーションは提案されていたが、今回はさらに茶系の革が増えている。砂のようなサンド・ベージュや緑がかかったオリーブ・ブラウン、栗色、濃厚なこげ茶とバリエーションがさらに広がっている。

そして茶系と相性が良い深みのあるグリーン、グレイブルー、ボルドーをベースとしたレザーにさらに手を加え、表情豊かな色合いに仕上げたものが目に付く。

全体的に色合いはマット（つや消し）になっており、ここ数年シズン続いたゴールド・シルバーにブロンズが加わり、ラグジュアリーでクラシックな雰囲気の商品が出てきそうなことを予感させる。

Technique



PELLEROSSA (ペッレ・ロッサ) 仕上がりはしなやか

ワニ・ハ虫類を中心とした 多種類の型押し

革の複合加工は、今回もさまざまな技法をこらしたものが出ている。特にアニマルの型押しが圧倒的に多く、クロコダイル、アリゲーター、ヘビ、トカゲ、ダチョウと模様ที่ใหญ่いものから小さなものまで多種



QUESIA (クエジア) 深みのあるグリーン



BOMAR (ボマール) ダークブラウンも豊富なバリエーション



STEFANIA (ステファニア) ブロンズレザーを使ったブーツ



BADALASSI (バダラッシ) パステルもマットになってスモーキーカラーに

Color

Motif

花、植物、70年代プリント は継続



PELLEROSSAシックになったオブティカルプリント



ATEMAデザインをポニーで縁取っている



NATHALIEジュエリー使いで変化を

花、植物、70年代プリントとモチーフは、前シーズンからの継続が多い。70年代のオブティカルプリントはカラフルなものからシックなスタイルになり、以前と同様のプリントはシックな色使いにしたりジュエリーを加えて変化をつけたりしている。



KEARA焦がしを入れたような加工



AMTIBA (アンティバ) 表面をこすると下地の模様が出てくる



ATEMA (アテマ) 型押しのパリエーションが広がっている



PELLEROSSAソフトな仕上がりのエナメル型押し



STEFANIAグラデーションをかけた仕上げ



BOMARヴィンテージ風の製品が多い



ATEMAベイズリーは大柄に



NATHALIE柄の間に色が入っている

アンティーク加工で 味のある仕上げに

多様。それをエナメル加工やメタリック加工してつや感を出したり、マットに仕上げたナチュラル感のある雰囲気仕上げていく。以前までクロコタイルはバッグと決まっていたが、柔らかい仕上げの革が多くなってきたことで、最近は洋服に多様に使用されている。

毎シーズン、オリジナル性の高い革を豊富に提案している「ATEMA」では、今回新しく10種類の型押しを追加した。アニマル以外に木や葉っぱなど自然をモチーフにしたものを型押しで表現している。

今回のアンティーク加工は、通常のムラ染めに加え、焦がしのようなムラを入れたもの、使い古した革の雰囲気を出してヴィンテージ風に仕上げたものが多い。

ブラッシュオフで下地の模様や色出しが出来る革も出ている。こうした革の雰囲気は、靴メーカーが最後の仕上げの段階で仕上げていくもので、ヨーロッパの靴はこうした仕上げで差別化しているものが非常に多い。残念ながら日本では手間を惜しみ、そういう仕上げをやらす最初から加工した革を使ったがあるので、いい味が出ないそう